

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

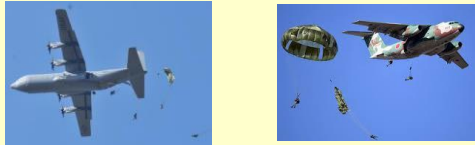
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- 重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 熊本県内における訓練について

本演習において熊本県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦（指揮機関訓練等）
- ② 統合通信訓練
- ③ 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
- ④ 陸上作戦（着上陸戦闘訓練等、航空基盤、対艦戦闘等訓練等）
- ⑤ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ⑥ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

熊本県内で実施を検討している訓練内容

① 陸上作戦（指揮機関訓練等）

健軍駐屯地においては、日米の共同調整所を開設し、指揮機関訓練、非実射による対艦戦闘訓練等を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：約1000名（西部方面総監部、第2特科団、第2高射特科団、富士教導団、第5施設団、西部方面システム通信群、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊等）、25式地对艦誘導弾等
米 軍：約350名（第3海兵機動展開部隊司令部、米陸軍等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



指揮機関訓練



対艦戦闘訓練（25式地对艦誘導弾）

熊本県、宮崎県及び鹿児島県で実施を検討している訓練内容

② 統合通信訓練

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が熊本県、宮崎県及び鹿児島県に展開し、統合通信回線を構成いたします。

訓練では実際に電波を発射いたしますが、住民の皆様の生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月27日（火）

【参加部隊】陸上自衛隊 西部方面システム通信群 21名（車両：10両）

西部方面後方支援隊 8名（車両：4両）

【実施場所】

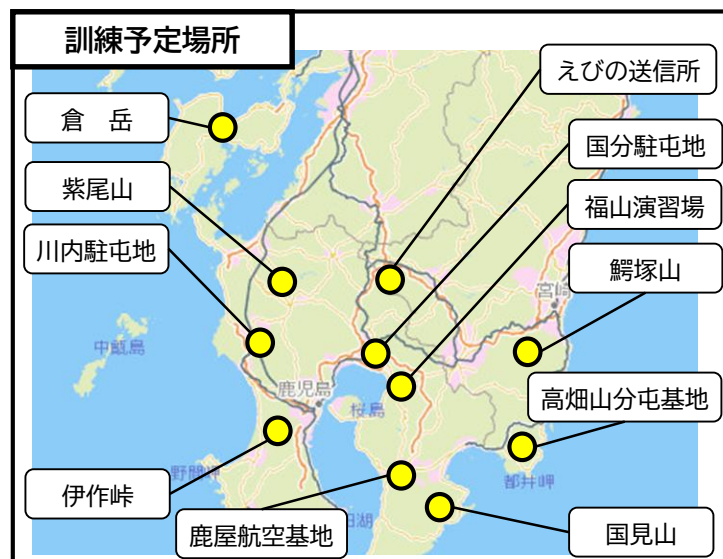
熊本県：倉岳（天草市）

宮崎県：鰐塚山（宮崎市）、えびの送信所（えびの市）、空自高畑山分屯基地

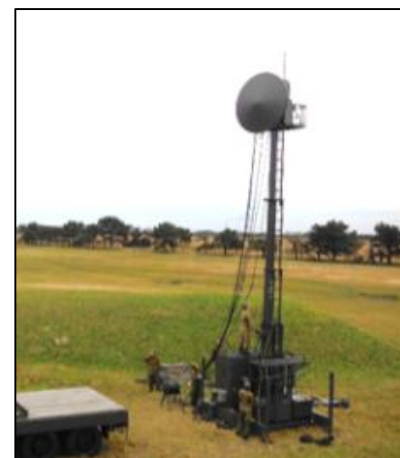
鹿児島県：紫尾山（薩摩郡さつま町）、伊作峠（日置市）

国見山（肝属郡肝付町）、海自鹿屋航空基地、陸自川内駐屯地、陸自国分駐屯地、

陸自福山演習場



訓練イメージ



【無線搬送端局（中継）装置1号】

熊本県内で実施を検討している訓練内容

③ 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、健軍駐屯地において機動展開訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

【参加部隊】航空自衛隊 北部航空方面隊 北部高射群 第22高射隊

【健軍駐屯地】人員約60名、車両約25両

訓練予定場所



訓練の一例（イメージ）

機動展開訓練



熊本県内で実施を検討している訓練内容

④ 陸上作戦（着上陸戦闘訓練等）

大矢野原演習場においては、対着上陸戦闘訓練、対艦戦闘訓練、対空戦闘訓練、電磁波訓練、情報収集訓練、衛生訓練を実施するとともに、陸上自衛隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施します。

電磁波訓練においては、実際に電波を発射いたしますが、住民の皆様の生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

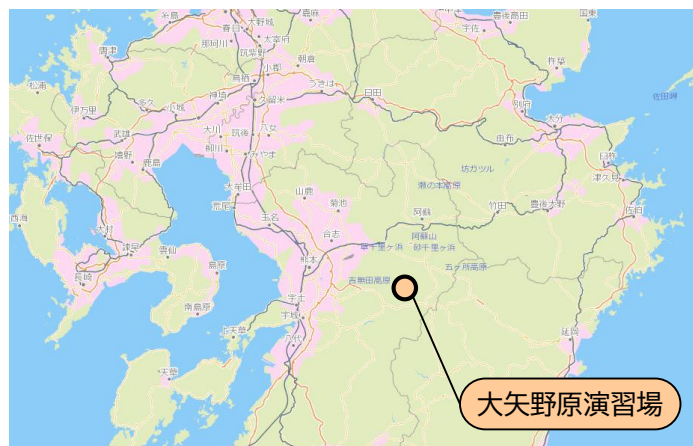
【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木）※期間前約2週間程度の準備期間を、期間後約1週間程度の撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊、第2特科団、第2高射特科団、西部方面システム通信群、西部方面航空隊

西部方面後方支援隊、通信教導隊等、12式地对艦誘導弾、03式中距離地对空誘導弾、16式機動戦闘車、87式偵察警戒車、NEWS（ネットワーク電子戦システム）、UH-1等

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



対艦戦闘訓練



対空戦闘訓練



電磁波訓練



衛生訓練



駐機・燃料補給・整備等

熊本県内で実施を検討している訓練内容

④ 陸上作戦（航空基盤）

高遊原分屯地においては、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

また、種子島、健軍駐屯地、高遊原分屯地及び大矢野原演習場の訓練に参加する日米の部隊等の展開及び撤収のため、日米の航空機による輸送のために使用する計画です。

訓練期間中、夜間においても飛行する可能性があります。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約100名（西部方面航空隊、第1ヘリコプター団、北部方面航空隊、航空学校、
AH-64×約2機程度、AH-1S×約2機程度、UH-60×約4機程度、UH-2×約3機程度、CH-47×約10機程度、V-22×約4機程度、OH-1×約2機程度等）

航空自衛隊：C-130、C-2等

米 軍：約30名（第1海兵航空団、MV-22×約4機程度、C-130（確認中）等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。

訓練イメージ



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備

熊本県内で実施を検討している訓練内容

④ 陸上作戦（対艦戦闘訓練）

黒石原演習場においては、陸上自衛隊の部隊が対艦戦闘訓練を実施する計画です。
対艦戦闘訓練における射撃については動作のみであり、実弾は使用しません。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：第2特科団（約20名）、12式地対艦誘導弾等

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



黒石原演習場

訓練イメージ



12式地対艦誘導弾



搜索標定レーダ（SRU）

熊本県内で実施を検討している訓練内容

⑤ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

熊本駐屯地に所在する自衛隊熊本病院においては、陸上自衛隊の部隊が治療・後送等の衛生訓練を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木）

【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面総監部、自衛隊熊本病院等

訓練予定場所



熊本駐屯地

訓練イメージ



衛生訓練

熊本県内で実施を検討している訓練内容

⑥ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が、健軍駐屯地において防護施設の構築訓練、小型ドローンの飛行訓練、航空自衛隊装備の防護訓練を実施するとともに、高遊原分屯地においてヘリコプターの飛行訓練を実施します。
なお、実弾は使用せず、小型ドローンは人口密集地の上空を飛行しません。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
【参加部隊】陸上自衛隊：約70名（西部方面隊、東北方面隊、UH-1、小型ドローン等）
航空自衛隊：約50名（北部航空方面隊、PAC-3等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



協同警備訓練



防護施設の構築



PAC-3



小型ドローンの飛行



UH-1の飛行